

## 旧国鉄士幌線の文化遺産を活用したまちづくり

(北海道・上士幌町)

地域に長く貢献してきた旧国鉄士幌線のアーチ橋梁群等は町民の保存活動により解体を免れました。その後、平成11年に保存活動を行った町民が中心となって「ひがし大雪アーチ橋友の会」を立ち上げ、橋梁の日常管理やフォーラムの開催、鉄路の再現、鉄道資料館の運営などを行っています。

これまでの地道な活動により、一部のアーチ橋は大企業のポスター等に採用されるなど、その知名度は全国区となり、再現した線路を利用し運行しているトロッコ列車と共に地元温泉街の重要な観光資源となっています。また、アーチ橋梁等は鉄道とともに歩んできた上士幌町の歴史教育の場として利用されています。



## 釈迦内上中通り「親水公園」(泥沼再生)

(秋田県・大館市)

昔は農業用水のため池として利用されていましたが、水田の減少により利用されなくなり、さらに生活排水等の流入により、劣悪な環境となっていた泥沼の再生を図るため、平成17年に「上中通りため池整備推進委員会」を発足し、除草や周辺環境の美化活動を実施してきました。

その後、親水公園の整備を実施した際には、ヘドロ除去など地域が一体となって作業を進めた結果、通行する人が池のハスの花やアジサイを觀賞するため立ち寄り、地域住民が花火大会や釣り大会等のイベントで利用できるスペースになりました。平成23年には、「親水公園管理委員会」を組織して、今後の維持管理体制も確立しています。



## 「市民で育てる100年の森」・こんぶくろ池公園

(千葉県・柏市)

こんぶくろ池自然博物公園は、貴重な動植物が生息する森とその森林を育ててきた湧水を保全することを目的として、整備されている自然博物公園です。

「NPO法人こんぶくろ池自然の森」は、こんぶくろ池及びその周辺の自然環境の保全を通して、より住みよい地域づくりの推進を目的に設立され、会員数は45名になります。活動は、月2回里山（公園整備）活動、ゴミ拾い、危険木等の伐採、園路の柵作りのほか、月1回貴重種の保護や標本作り等、また公園ガイド案内等を土日祝祭日に実施、秋のこんぶくろ祭りを開催しています。様々な活動を通し、貴重な多様性のある自然環境を次世代に残すべく活動を進めています。



## 地域で育てよう桜の文化 ～日本一の桜名所づくり～

(東京都・江戸川区)

小松川千本桜は、スーパー堤防事業により創出された広大なオープンスペースを利用し、江戸川区が10種1,000本の桜を整備したことをきっかけに、平成16年11月に地域住民が「全国に誇れる桜の名所づくり」を目的に「小松川千本桜を愛する会」を設立しました（会員数22,059世帯）。

地域全体で桜を育てていく仕組み「桜のパートナー制度」導入、地域住民が施肥活動する「千本桜育樹大会」開催（参加者300名）、お花見を楽しめる環境整備「千本桜クリーン作戦」実施（参加者300名）、各種団体の協力・参加による「小松川千本桜まつり」開催など、地域コミュニティ形成に貢献しています。



## 三角島ふるさとの森プロジェクト～水と緑の市民の森をめざして～（長野県・安曇野市）

雄大な北アルプスの麓、連続テレビ小説「おひさま」の舞台にもなった“あづみの”。わさび畑に囲まれた三角島は、その清流や豊かな自然環境、黒澤明も映画「夢」に使った水車小屋とその風景等地域の人々や年間119万人の観光客から愛されている場所です。

平成16年の洪水による河川改修に対し、重要な景観と環境を損なうことの無いよう市民が立ち上がり、「三角島ふるさとの森プロジェクト」が設立され、県・市と3者で締結した河川アダプトプログラム事業、年4回の清掃活動や年2回の子どもたちを主体としたイベントの実施等地域に密着した活動と共に、三角島の景観や環境保全にもはや無二の存在になっています。



## 中山道鶉沼宿～人と人とのつながりをめざして～

（岐阜県・各務原市）

中山道鶉沼宿まちづくりの会は、鶉沼宿の資源を有効活用した歴史的まちなみの保存・創造をはかり、美しい景観を将来へ継承していくことを目的に、平成19年3月に設立され、まちづくりの会議をこれまでに46回開催しました。この意見を踏まえ、平成23年度までに歴史的建築物の修景や復元などの家並みの再生や歩行者優先の道路への改修事業が完了し、その後、まちづくりの会において、鶉沼宿脇本陣の管理、中山道の清掃活動(毎月2回)が行われ、ボランティアガイドの会では、来訪者に無料で中山道鶉沼宿の案内を実施するなど、地域住民の地域への愛着が高まるとともに、地域の絆づくりや賑わいが創出されています。



## 地域資源の再利用で環境美化

（静岡県・御前崎市）

御前崎エコクラブは、御前崎エコパークをみんなの癒しの場にすることを目的に平成10年4月に設立され、ビオトープ整備、花の植栽、植樹、樹木の剪定、草刈りなどの整備及び管理など様々な活動を実施（年間を通じ300日以上活動）しています。

公園内のあずまやに、エコパークに咲く花や蝶や鳥の写真を展示し、説明を行ったり、地域の活性化を目的に、エコパーク祭り、あじさい祭り、小学生や幼稚園児向けの環境学習などを行っています。かつては管理が行き届かず利用がほとんどない公園でしたが、これらの活動により、明るく安全な手づくりの公園に生まれ変わり、市民の憩いの場となっています。

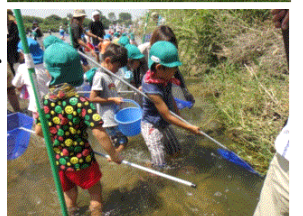


## 庄内川の水辺環境を活かした官民協働のまちづくり

（愛知県・清須市）

清須・あま・大治かわまちづくり協議会は、庄内川河川敷の利活用を目的に、清須市内の学校、市民、まちづくり団体などによって、平成21年4月に設立され、平成24年度から、近隣市町を取り込んだ広域的な協議会(約60団体が参画)として再出発しました。

日々の清掃活動、河原撫子などの固有種の植生の回復、河川敷に広がる水辺環境を活用した環境学習、かつて青物市場があった頃の賑わいを復活(みずとぴあ庄内朝市を月1回開催)させるなど様々な取組を行っています。また、当該エリアだけでなく上流域の環境保全にも力を入れており、流域全体を見据えた広域的な地域づくり活動を行っています。



## 季節を彩るおもてなしを～名張市旧細川邸「やなせ宿」の取組～

(三重県・名張市)

名張川と宇陀川の合流点に近接する旧細川邸「やなせ宿」は、江戸時代末期から明治時代初期に建てられた町家を、観光交流施設として改修した施設です（平成21年1月国登録有形文化財に指定）。

まちなか運営協議会は、やなせ宿で年間50日以上イベントや教室を開催し、オープン以来年間約2万人の来館者数を維持しています。活動は、まち歩き休憩所・喫茶の運営として地域に親しまれる他、川に近い立地を活かしホテル再生・稚鮎放流、やなせ親子塾の開講など市民参加型環境学習イベント、誰もが日替わりシェフとなるワンデイレストラン（起業した店舗6軒）など数多くの事業を実施。やなせ宿が市民の交流、活躍、憩いの拠点となり、地域を愛して感謝するおもてなしの取組が広がっています。



## 万代中央ふ頭(水辺のコミュニティスペース)

(徳島県・徳島市)

万代中央ふ頭は、徳島市中心市街地に近く、過去には港湾物流の拠点として栄え、また、新町川下流の水辺という景観に優れた水際空間に面しています。「非特定営利法人アクア・チッタ」（平成17年6月設立 会員60名）は、遊休倉庫の一つを活用した「第二倉庫 アクア・チッタ」を拠点に、港にぎわい空間の創出を図り、継続的な万代中央ふ頭のまちづくりを推進しています。また、かつての賑わいを取り戻すべく、土地の有効活用を促進し、市民主体の全く新しい街を作り出すことを目的として、清掃活動、イベントによる認知度向上活動や、万代中央ふ頭のまちづくりマスタープランの作成など行政との協働事業も行っています。



## 讃州井筒屋敷を拠点とした歴史ある引田まち並み

(香川県・東かがわ市)

「讃州井筒屋敷」は、歴史的価値のある引田のまち並みを代表する井筒屋敷を保存しようとする有志により結成された「引田のまち並み保存会」（平成13年7月設立 会員30名）の活動により、市によって観光拠点施設として整備されました。引田まち並み保存会により平成14年から「引田飾り」と呼ばれる地域独特の文化を復興させた「引田ひなまつり」を開催しており、現在では地域住民と一体となった取り組みに発展しています。また「讃州井筒屋敷」を拠点とした、ボランティアガイドによる町並み観光案内、登録有形文化財の発掘と登録申請、地元出身者の顕彰活動など引田の歴史・文化の魅力を発信しています。



## 匠が巧みに未来を拓く～住民主導のまちづくり～

(高知県・梼原町)

梼原町町組再生委員会（愛称：たくみの会 平成12年設立 会員約70名）は、国道440号の道路整備をきっかけに発足しました。たくみの会による、まちづくりへの提言と協同による実行（意見交換会やワークショップ、地元への説明）や住民自らが地域の一斉定期清掃活動へ参加する姿勢、観光ボランティアへ育成に応える住民意識など、山間自治体のなかにあつて様々な工夫した取り組みを実践しており、住民が描いた理想のまちづくりを自らの手で具体化させました。現在は、定期的な花植え、清掃活動を行い、住民の交流の機会を創出しています。また、茶菓をもって輪番制で旅人をもてなす『茶堂』でのおもてなしや、ボランティアガイドなども行っています。



## 噴火災害からの復興「安中・夢計画」

「安中地区まちづくり推進協議会」は、普賢岳の噴火災害時に土石流に呑み込まれた「われん川」や「安中梅林」の再生および維持・管理を行うとともに、水無川下流導流堤の利活用の一貫として、地域住民・行政が一体となり参加するイベントの開催等を行ってきました。

そのほか、安中三角地帯嵩上げ事業を実現した際に培った住宅再建のノウハウを、地震・火山噴火等で被災した地域（有珠山、三宅島、新燃岳）に伺って伝承するなど、他地域の復興にも貢献しています。最近では、「安中防災塾」を行政と協働で開催するなど、次世代の防災リーダーの育成に積極的に取り組んでいます。

(長崎県・島原市)



## 森づくりから風土づくりへ大淀川流域住民プロジェクト

「NPO法人どんぐり1000年の森をつくる会」は、大淀川の水を豊かにするために上流域に広葉樹である“どんぐりの木”を植樹し、自然林を復元しています。これまでに16の国有林56haに13万5千本のどんぐり（広葉樹の総称）を植樹し、今では、10年前に植栽した山に沢ができて、清らかな水が流れ出し、自然植生に近い山となっています。

また、子供たちが身近に森に親しめる場所として「どんぐり村～こども自然塾」を整備し、子どもたちが想像力を働かせ、全身で遊べる場所として開放しています。電気や水道がない不便な場所がありますが、開村以来、多くの親子や団体が訪れています。

(宮崎県・都城市)



## 豊かな風土を後世へ(錦江湾重富干潟)

「NPO法人くすの木自然館」は、環境教育を通して豊かな郷土の風土を後世により状態で継承していくための環境保全・風土継承活動を進めています(会員数143名)。

鹿児島湾最大の重富干潟をフィールドに地域や幼～大学等での講演や環境講座、野生生物調査、生態系調査を実施し、分析研究することにより私たちの生活環境を紐解き理解していただきます。また、2000年当時は荒廃しきった状況だった干潟を地域の住民との協働で外来種駆除、干潟周辺の海岸清掃を行い、現在では、海岸を訪れる人は20倍に増え、活動を通じて地域にぎわいをつくり、活性化することに寄与しています。

(鹿児島県・始良市)



## 災害を乗り越え、地域コミュニティ活動の拠点となった歴史と伝統の越来城水辺公園

大雨による氾濫で浸水被害が発生していた沖縄市を流れる比謝川において、治水整備に併せた公園整備計画を地元住民が参画したワークショップで検討したことがきっかけとなり、周辺8自治会(約3,600名)からなる「越来城下町まつり実行委員会(公園の利活用団体)」が発足しました。

平成20年11月の「越来城水辺公園」竣工時には、当委員会手づくりによる「越来城下町まつり」が開催され、現在では毎年の恒例行事として今年で5回目を迎えます。また、こいのぼり祭りなどの地域イベントや、美化清掃、防犯パトロール等活動に広がりが見られ、今では同公園が地域のコミュニティ活動拠点として象徴的に活かされています。

(沖縄県・沖縄市)



## 人と自然が共存したビオトープ赤羽緑地

「赤羽緑地を守る会」は、野鳥やメダカ、ミクリ等の稀少動植物が生息する赤羽緑地が、溜池には葦が生い茂り人も近寄りがたい荒廃地であるのを日立市と市民の協働で7.3haのビオトープ公園として整備し開園したのを機に平成15年4月に設立しました。

平成18年度の手づくり郷土賞受賞以降も日頃の整備保全活動や年間行事は継続しつつ、小学校2校207人の児童が参加してヒイラギキンモクセイ600本を植樹し150mの生垣の整備、小学校3校154人の児童が参加してミズバショウの種まき実施、また以前からあった井戸の整備として手押しポンプを取り付け、災害時の水不足の備えの充実など活動に広がりが見られます。

(茨城県・日立市)



## 歴史と文化が薫る町並み

「竹原町並み保存地区」は、江戸時代後期から全国有数の製塩地として発展し、意匠に優れた情緒ある町並みを残しています。昭和61年の手づくり郷土賞受賞後も、建物の修理・修景や街路整備事業を行い、平成15年には「NPO法人ネットワーク竹原」を設立し、竹原の個性「町並み・塩・竹」をテーマに、竹楽器を製作し、小学生の竹夢楽団による音楽劇「竹原塩物語」の演奏など、ユニークな発想でまちづくりを進め、竹原の魅力を創出し発信しています。また、町並みが映画のロケ地やアニメの舞台となったことをロケ地と連動した企画に繋げたことにより、客層が若年層や家族連れなどに広がり、15万人前後で推移していた観光客数は約26万人へと着実に成長し、地域活性化に大きく寄与しています。

(広島県・竹原市)

